

## EIZO (6737)

担当 織田真由美

レーティング: **NEUTRAL** (2025/6/6) → **NEUTRAL**

- ※ ヘルスケアなど特定市場向けに強みのあるグローバルニッチ企業
- ※ 欧州経済低迷で売上高横ばい、投資先行で利益伸び悩み
- ※ インドや中東など成長市場に注力

	売上高 (百万円)	伸び率 (%)	営業利益 (百万円)	伸び率 (%)	経常利益 (百万円)	伸び率 (%)	純利益 (百万円)	伸び率 (%)	EPS (円)	1株配 (円)
連 22/3	86,789	+13.4	11,299	+42.4	12,110	+37.4	7,794	+26.6	182.80	60.00
連 23/3	80,849	-6.8	5,002	-55.7	6,126	-49.4	5,862	-24.8	140.48	62.50
連 24/3	80,471	-0.5	3,908	-21.9	6,326	+3.3	5,454	-6.9	132.56	100.00
連 25/3	80,493	+0.0	3,706	-5.2	4,555	-28.0	4,148	-23.9	100.81	105.00
連 26/3(会社予)	85,000	+5.6	4,800	+29.5	6,100	+33.9	4,400	+6.1	106.90	110.00
連 26/3(今村予)	84,000	+4.4	4,300	+16.0	6,000	+31.7	4,200	+1.3	102.00	110.00
第2四半期累計期間										
連 24/4-9	36,817	-1.0	830	-49.3	1,070	-66.6	709	-67.1	17.24	52.50
連 25/4-9	37,874	+2.9	659	-20.5	1,492	+39.4	930	+31.2	22.61	55.00
株価(2025/11/20)			2,158	円						
発行済み株式数(25/9 末)			43,962	千株						
自己株式数(25/9 末)			2,796	千株						
時価総額			95,134	百万円						
企業価値(EV)			85,178	百万円						
ROE(25/3 実績)			3.3	%						
予想配当利回り(26/3 今村予)			5.0	%						
予想PER(26/3 今村予)			21.2	倍						
BPS(25/9 実績)			3,201.64	円						
PBR			0.7	倍						
CFPS(25/3 実績)			280.4	円						
PCFR			7.7	倍						
EV/EBITDA(25/3 実績)			10.9	倍						



6737 JP Equity (EIZO) chart 週足 08/09/2022-20/11/2025 Copyright © 2025 Bloomberg Finance L.P. 20-Nov-2025 16:30:19

株価チャート(週足)

出所: EIZO、ブルームバーグ、今村証券

注) 2024年10月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を実施しており、2022年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定してEPS、BPS及び配当金を表記。

### ※ 会社概要…医療用途など特定用途に強み

高精度画像に強みをもつモニターメーカー。ヘルスケア（医療用途向け）、クリエイティブワーク（映像制作や出版・印刷、デザインなどの用途向け）、航空管制（以下「ATC」。市場別では「V&S（産業用途向け）」に含まれる。）向けなどで高いシェアを持ち、映像に関するテクノロジーをコアに事業を展開。売上の4割程度を欧州が占める。

### ※ 業績…欧州経済減速が影響

2026年3月期第2四半期連結業績は欧州経済減速が影響し、売上高はほぼ横ばい、営業利益は上期として4期連続の減益となった。

売上高は10.5億円増収の378.7億円。欧州の経済低迷を受けてビジネス用途のB&Pやクリエイティブワークが

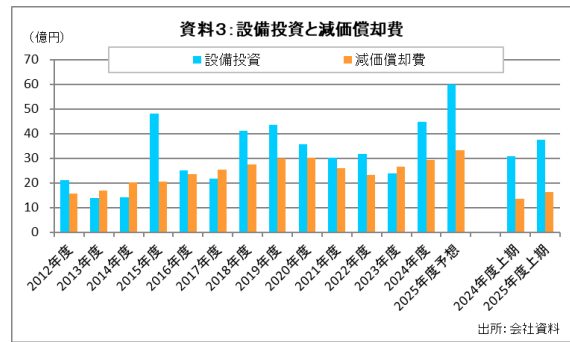
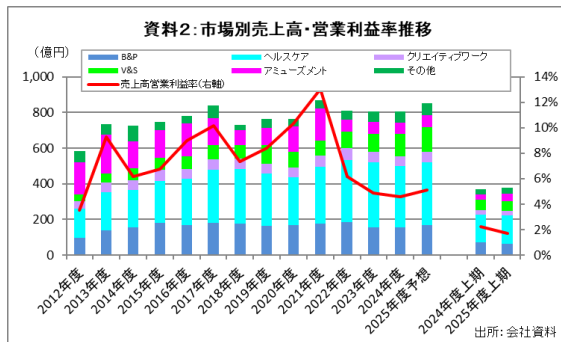
資料1: 市場別売上高

	2024年度第2Q	2025年度第2Q		2025年度見直し	
	売上高 百万円	売上高 百万円	前年同期比 %	売上高 百万円	前期比 %
B&P (ビジネス用等)	7,231	6,168 (▲14.7)		16,700 (+5.8)	
ヘルスケア	15,481	16,131 (+4.2)		35,200 (+3.2)	
クリエイティブワーク	2,554	2,434 (▲4.7)		5,900 (+6.8)	
V&S (産業用)	5,749	5,380 (▲6.4)		13,800 (+9.4)	
アミューズメント	3,108	4,125 (+32.7)		6,800 (+12.2)	
その他	2,693	3,633 (+34.9)		6,600 (+3.1)	
合計	36,817	37,874 (+2.9)		85,000 (+5.6)	
為替レート (年平均): USD	152.78	146.02		143.00	
為替レート (年平均): EUR	166.07	168.05		157.00	

減少、産業用途のV&Sも低迷した一方、新機種販売があったアミューズメントが伸長したことが増収に寄与した（資料1参照）。

利益については、成長投資に伴うコスト増加が重荷となっている。対ドルでの円高進行などを背景に粗利益率は前年同期比0.1ポイント改善の32.6%となったものの、人件費の増加や新技術棟に係る費用の計上、インドや中東における販売活動の拡充などによって販売管理費が増加、売上高営業利益率は1.7%と前年同期に比べて0.5ポイント低下し（資料2参照）、営業利益は前年同期比2割の減益だ。

なお、経常利益、純利益については為替差益0.9億円の計上（前年同期は為替差損3.8億円を計上）があったことで増益となった。



## ※ 業績予想と投資判断

強みはヘルスケアやクリエイティブワーク、ATC用途や船舶用途などニッチな市場で圧倒的なシェアを持つことだ。年間60億円強の研究開発費（売上高に対する比率7~8%）を投じ高付加価値製品を開発、他社と差別化を図る。安定した更新需要があることが収益の基盤となっている。

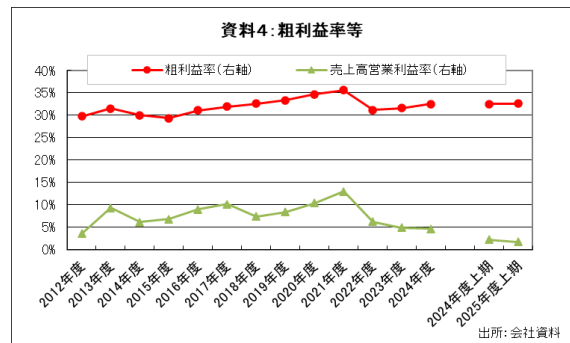
近年は先行投資に係るコスト増加によって営業利益率が低下しているが、粗利益率が30%超を維持していることは同社の競争力が維持されていることの表れと考える（資料4参照）。足元では売上高の伸び悩みが利益を押し下げているものの、コスト増加をカバーできる売上の拡大が実現すれば業績の回復、中長期的な利益成長が期待できよう。

ただ、今期については通期業績の下ぶれ懸念が強い。会社は下期にATCなど海外向けV&Sでの案件が実現するとして通期業績予想を据え

置いているが、営業利益の進捗率は13.7%にとどまる。今村証券では今期業績予想を6月時点から引き下げ、売上高840億円、営業利益43億円、純利益42億円、EPS102円とする。

来期については不透明感が強いものの、欧州経済の持ち直しを期待することから売上高870億円、営業利益57億円、純利益49億円、EPS119円と、6月時点の予想を据え置く。

投資判断はNEUTRALを継続するが、配当重視であれば投資対象として検討に値すると考える。会社は株主還元を強化しており、配当政策として「年間配当金の下限105円」を掲げる。5%台の配当利回りは魅力的だ。



---

## 【当社の概要】

商号等：今村証券株式会社  
金融商品取引業者 北陸財務局長（金商）第3号  
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

---

## 【手数料】

国内株式等の売買取引には、約定金額に対して最大1.201750%（税込）（1.201750%に相当する金額が2,612円未満の場合は2,612円（税込））の委託手数料をご負担いただきます。

外国株式（外国ETF、外国預託証券を含む）の外国金融商品市場等における委託取引にあたっては、売買金額（約定金額に外国金融商品市場における手数料と税金等を購入の場合には加え、売却の場合は差し引いた額）に対し、最大0.990%（税込）の国内取次手数料をいただきます。外国金融商品市場での取引にかかる手数料、税金等は国（市場）により異なります。外国株式（外国ETF、外国預託証券を含む）の売買、配当金等の受取り等にあたり、円貨と外貨を交換する際は、外国為替市場の動向をふまえて今村証券が決定した為替レートを適用します。

---

## 【リスクについて】

日本および外国の株式・債券への投資は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより、投資元本を割り込むリスクがあります。

---

## 【アナリストによる証明】

本資料に示された見解は、言及されている発行会社とその発行会社等の有価証券について、各アナリストの個人的見解を正確に反映しており、さらに、アナリストは本資料に特定の推奨または見解を掲載したことに対して、いかなる報酬も受け取っておらず、今後も受け取らないことを認めます。

---

## 【レーティングの定義】

OUTPERFORM：今後12ヶ月間のトータルリターンがTOPIXの予想リターンを10%超上回ると予想される。  
NEUTRAL：今後12ヶ月間のトータルリターンがTOPIXの予想リターンの+10%と-10%の間に入ると予想される。  
UNDERPERFORM：今後12ヶ月間のトータルリターンがTOPIXの予想リターンを10%超下回ると予想される。  
トータルリターン：株価変動率+配当利回り  
目標株価は12ヶ月間の投資を想定しており、将来発行されるレポートで修正されることもあります。

---

## 【免責・注意事項】

本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的とし、信頼できると思われる各種データに基づき作成したものです。正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見・予測等は、作成時点における今村証券の判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。本資料は投資結果を保証するものではありませんので、本資料の内容について第三者のいかなる損害賠償の責任を負うものでもありませんし、本資料に依拠した結果として被った損害または損失について今村証券は一切責任を負いません。投資に関する最終決定はご自身の判断で行ってください。今村証券は本資料に関するご質問やご意見に対して、何ら対応する責任を負うものではありません。

今村証券及びその関連会社、役員が、本資料に記載されている証券もしくは金融商品について、自己売買または委託売買取引を行うことがあります。

本資料は今村証券の著作物であり、著作権法により保護されております。今村証券の事前の承認なく、また電子的・機械的な方法を問わず、本資料の全部もしくは一部引用または複製、転送等により使用することを禁じます。